

広島子どもの心支援ネットワーク第 64 回研修会報告

期 日：2021 年 6 月 26 日（土）9:30～12:30

場 所：オンライン（Zoom）

テーマ：1 人 1 台のテクノロジーを使いこなせる学習者の育成を考える！

講 師：バーンズ亀山静子（NY 州スクールサイコロジスト/早稲田大学非常勤講師）

川俣智路（北海道教育大学教育学研究科（教職大学院）准教授）

内 容：9:30 開催

9:40～10:50 公演「学習者育成の視点からの 1 人 1 台の活用」（バーンズ亀山静子先生）

11:00～11:45 ワークショップ 1 「学習環境からの学びのバリアを探せ」

11:45～12:25 ワークショップ 2 「学習者主体のテクノロジー活用を考えよう」

12:25～12:30 閉会

この時期、毎年恒例となった UDL（Universal Design for Learning：学びのユニバーサルデザイン）をテーマとした研修会。日本における UDL の第一人者である、バーンズ亀山静子先生と川俣智路先生を招いて（今回は残念ながらオンラインで、ニューヨークと北海道から参加していただきました）、今後日本の教育に大きな影響をもたらすであろう UDL について、理論を学び、ワークショップで実践をイメージしました。

UDL は、具体的な教育プログラムではありません。明確なただ一つのゴールである『学びのエキスパートを育てる』ということに向かうための概念的フレームワークを提供するものです。もう少し具体的に説明すると、主体的に学ぼうとする学習者にとって、その学びの妨げになるものがあればそれを取り払い、代替オプションを提供すること、学習者はそのオプションの中から自分に最適な学び方を選択できること、そんな授業をデザインするための考え方を示したものが UDL なのです。そして、この考え方を整理したものが、UDL ガイドライン（図）です。

すべての子どもが公正に学びにアクセスし、主体的に自らの学びを進められる学びのエキスパートになるために！

